



## 放射線部の MRI が新しくなりました！

比良光幸（放射線部）  
 稲生信一（放射線部部長）  
 平井幸栄（放射線部技師長）

当院放射線部は2台のMRI装置（1.5Tと1.0T）を使用しています。今回、約18年ほど使用していたMRI1.5T装置を更新し、SIEMENS社製MAGNETOM Aera 1.5Tを導入しました。

### MRIとは？

MRIについて少し説明したいと思います。

MRIとは「Magnetic Resonance Imaging」の略で、日本語では「磁気共鳴画像装置」と呼ばれ、磁石と電波で人体の断層像を撮影する装置です。大きい磁石(強い磁場)の中に体を入れて、特定の周波数を持つ電波を当てると体内の水分に多く存在する水素原子からMR信号が得られます。この信号を受信し、コンピューター処理をして画像を作ります。磁場の強さ、体に当てる電波の種類や大きさ、タイミング等を変え、出てくるMR信号の変化により、多くの画像を撮ることができ、形態的な変化だけではなく生理的な変化の診断情報を得ることができます。また、撮像する断面の方向も変えることができるのもMR検査の特徴です。放射線を使用しないので被曝することはありません。また、撮影のために磁力の強さを変化させるために大きな音がします。

注意点としては、強い磁場の中に体を置くために体内に金属や装置を埋め込んだ方や閉所恐怖症の方は、検査を受けることができないというところです。(一部可能なものもあります)

### 今回導入した装置の特徴

- ① 装置入り口の開口径が70cmのオープンポアで、装置長が145cmのショートガントリの装置で、圧迫感も少なく、装置内部も大変明るく、開放的な検査環境で、患者さまもストレスなく検査を受けることができると思います。
- ② 従来の装置より、短時間検査、高画質検査が可能になりました。また撮影可能な範囲も広くなりました。
- ③ それぞれの撮影部位に適した専用コイルも充実しております。

今回の装置の更新によって、新たに撮影可能になった検査や検査予約枠も増やすことが可能になりましたので、今まで以上に、より良い検査、サービスを提供することができると思います。検査等の問い合わせは、どうぞお気軽にお尋ねください。



明るくリラックスできるようになった撮影室内



大柄な男性でも開放感たっぷり